

オーストラリア連邦

クイーンズランド州との 交流の概要

<昭和59年（1984年）10月27日姉妹提携>



埼玉県マスコット「コバトン」
(姉妹友好州省・クイーンズランド州バージョン)

彩の国  埼玉県

目 次

1	クイーンズランド州の概要	1
2	クイーンズランド州との交流のあゆみ	4
3	クイーンズランド州との主な教育交流事業	11
4	関係機関一覧	13

クイーンズランド州の概要

1 位置

オーストラリアの北東部に位置し、西はノーザンテリトリー（北部準州）に、南はニューサウスウェールズ州、サウスオーストラリア州と接している。

〔 南緯 10度～ 29度 〕
〔 東経 138度～154度 〕

2 面積

1,727,000km²
(埼玉県3,797.75km²の約454倍)

3 人口

5,647,468人(2025年)
(埼玉県人口7,322,822人(2025年12月)の約0.8倍)



4 州都

ブリスベン市（人口 2,780,063人[2024年]）

5 歴史

約4万年前のオーストラリア大陸には、アボリジニ人の祖先が定住していたと推定されています。

- 1770年 英国人ジェームズ・クックが上陸、英国領有宣言
- 1859年 クイーンズランド州政府が設立
- 1860年 クイーンズランド州議会が開設
- 1901年 豪州連邦成立

6 政治

クイーンズランド州は、連邦と同様、英国女王の行政を代表するものとして総督がおかれています。州総督は、内閣の助言に基づいて名目的に行政を代表します。

(1) 立法

オーストラリアで唯一、一院制を採用しています(1922年に上院廃止)。議員定数は93議席、任期は4年で、議会構成は以下のとおりです(2026年1月末)。

自由国民党	53議席
労働党	35議席
カッター・オーストラリアン党	2議席
その他	3議席

- (2) 行政
総督 ジャネット・ヤング (2021年11月～)
首相 デービッド・クリサフリ
(自由国民党・任期：2024年10月～)

(3) 司法

連邦の司法組織のほか、州高等裁判所、地方裁判所、簡易裁判所が設置されています。なお、産業分野での紛争は、産業裁判所、産業調停委員会及び仲裁委員会で取り扱われます。

7 経済・産業

(1) 経済全般

州内総生産(GSP) 約5,238億豪ドル(約58兆5,085億円)(2024-2025年)
1人当たりGSP 92,380豪ドル(約1,032万円)(2024-2025年)
※レートは1豪ドル≒111.7円(2026年3月現在)で計算

(参考) 埼玉県(2022年度)
県内総生産(名目) 24兆6,656億円
1人当たり県民所得 313万8千円

(2) 鉱業

鉱物資源に恵まれており、特に、石炭、天然ガス、ボーキサイト、銅、銀、鉛、ニッケルの生産量が多い。

(3) 農業・畜産業

サトウキビの生産が全豪の約90%以上を占めるほか、パイナップル、マンゴー、マカダミアナッツ、ピーナッツも生産しており農業も盛んです。牧畜業は特に肉牛を中心とする食用生産が盛ん(肉牛飼育数・豪州全体の約半数)です。

(4) 観光業

州の北東海岸の沖合にグレートバリアリーフと呼ばれる大珊瑚礁が広がるなど、観光資源が豊富です。

8 教育

(1) 日本語教育

初等教育から高等教育まで、各段階において外国語教育が盛んに行われ、日本語は最も人気のある言語です(州政府が推奨する6言語：日本語、中国語、インドネシア語、イタリア語、ドイツ語、フランス語)。

(独法)国際交流基金の2024年調査によると、豪州の日本語学習者は約42万4千人で、その内、最大の約15万7千人がクイーンズランド州で日本語を学習しています。

科目として教えている公立小学校数は300校、公立中・高等学校数は153校、公立小・中・高等学校一貫校は22校であり、日本語教育が活発です。(参考：州内全公立学校数 1,266校(2025年現在))

(2) 大学

クイーンズランド州には、以下の12の大学があり、約25万人(2024年現在)の学生が学んでいます(オーストラリア全体では、42大学)。

(公立)

クイーンズランド大学、クイーンズランド工科大学、グリフィス大学、ジェームズ・クック大学、セントラル・クイーンズランド大学、南クイーンズランド大学、サンシャイン・コースト大学、オーストラリア・カトリック大学、サザンクロス大学、ビクトリア大学

(私立)

ボンド大学、トーレンス大学

(3) 日本からの留学生

クイーンズランド州は、日本から多くの留学生を受け入れています。クイーンズランド州で学んでいる日本からの留学生数は以下のとおりです。(2025年1月～2025年11月の累計入学者数、オーストラリア教育省統計)

・ 大学、大学院生	771人
・ 職業・専門学校	1,172人
・ 小・中・高校	392人
・ 英語集中コース	1,986人
・ その他	280人
総計	<u>4,601人</u>

クイーンズランド州との交流のあゆみ

- 1980(昭和55)年11月 県議会東南アジア・オセアニア行政視察団(5名)がクイーンズランド州を親善訪問。州議会議長、州首相府総務長官等と会談し、両県州の姉妹提携の可能性が話題となる
- 1981(昭和56)年3月 クイーンズランド州総務長官及び州政府東京事務所弁務官が知事及び県議会議長を表敬訪問
- 1982(昭和57)年1月 県議会東南アジア・オセアニア行政視察団(5名)がクイーンズランド州を親善訪問
- 4月 知事を団長とする埼玉県豪州親善訪問団(5名)がクイーンズランド州を親善訪問
- 6月 クイーンズランド州首相夫人及び副首相一行(8名)が知事を表敬訪問、本県との姉妹提携を希望する旨の州首相の親書を持参
- 12月 クイーンズランド国立公園野生動物保護局関係者が、県立こども動物自然公園を視察
- 1983(昭和58)年3月 埼玉県コアラ及びユーカリに関する視察調査団(3名)がクイーンズランド州を訪問
- 5月 クイーンズランド州からコアラ及びユーカリに関する資料とユーカリの種が贈られる
- 6月 クイーンズランド州副首相兼大蔵大臣及び州首相府調整局長官が来県、本県との姉妹提携を希望する旨の州首相の書簡を持参。クイーンズランド州商工大臣一行(7名)が来県、県内を視察
- 7月 6月定例県議会でクイーンズランド州との姉妹提携について同意
- 8月 埼玉県高校教員オーストラリア派遣団(8名)がクイーンズランド州を親善訪問
- 9月 クイーンズランド州首相から知事に対し、昭和59年度前半頃までに姉妹提携を行いたい旨の書簡が届く
- 1984(昭和59)年10月 ピーターセン クイーンズランド州首相を代表とする姉妹提携調印団(9名)が来県し、「日本国埼玉県とオーストラリア クイーンズランド州との姉妹提携に関する協定書」に調印。その後の記者会見で、クイーンズランド州首相が埼玉県へのコアラ贈呈を表明
- 1985(昭和60)年5月 知事を団長とする埼玉県クイーンズランド州訪問団(5名)がクイーンズランド州を訪問、「1985年から1987年にかけての交流事業に関する第1回合意書」に調印
- 8月 埼玉県高校教員オーストラリア派遣団(8名)がクイーンズランド州を訪問
- 10月 第1回交流事業の最初の事業として、児童絵画の相互交換及び展示会を開催
- 1986(昭和61)年4月 クイーンズランド州からコアラ(雄2頭)が贈られる
高等学校教員の相互派遣を開始
- 5月 クイーンズランド州議会議長一行(7名)が来県、コアラ歓迎記念式典に出席

- 1987(昭和62)年3月 クイーンズランド州首相一行(6名)が来県。クイーンズランド州からコアラ(雌4頭)が贈られる
- 7月 クイーンズランド州に友好記念品(甲冑)を贈呈
- 9月 「1988年から1990年に係る交流事業に関する合意書」に調印
- 10月 クイーンズランド州総督一行(4名)が来県。「現代オーストラリア美術展」を県立近代美術館で開催。
- 1988(昭和63)年3月 熊谷市で開催された「さいたま博覧会」に、クイーンズランド州政府が参加出展
- 8月 知事を団長とする埼玉県友好親善団(5名)がクイーンズランド州を訪問、「ワールドエキスポ'88」での「埼玉デー」行事に出席
- 11月 第2次クイーンズランド医療技術派遣団(5名)が来県
県内医療施設を視察
- 1989(平成元)年7月 海外事務所設置の可能性を調査するため、県職員(3名)をクイーンズランド州に派遣
- 10月 クイーンズランド州からカンガルー(6頭)が贈られる
「クイーンズランド文化展」を県立博物館で開催
埼玉県医療技術団(6名)をクイーンズランド州に派遣
- 1990(平成2)年11月 「1991年から1993年に係る交流事業に関する合意書」に調印
- 1991(平成3)年10月 海外事務所設置の可能性を調査するため、県職員(1名)をクイーンズランド州政府内に派遣(～平成5年9月)
- 1993(平成5)年4月 ブリスベン王立子供病院改築基金への募金協力を実施
- 5月 クイーンズランド州総督一行(4名)が来県、知事及び県議会議長を表敬訪問
- 10月 クイーンズランド州首相一行(7名)が来県、知事及び県議会議長を表敬訪問したほか、商工関係者と懇談
新たに県職員(1名)を派遣(～平成7年3月)
- 1994(平成6)年2月 ブリスベン王立子供病院財団理事長が来県、県の募金協力に対して、知事に感謝の楯が贈られる
- 8月 知事を団長とする埼玉県クイーンズランド州親善訪問団(13名)がクイーンズランド州を訪問、現地で行われた姉妹提携10周年記念式典に出席し、「1994年から1996年に係る交流事業に関する合意書」及び声明文に調印。同式典には、県議会の友好訪問団(8名)をはじめ、県民223名が出席
- 9月 大宮ソニックシティで開催された「彩の国さいたま大産業祭」に、クイーンズランド州政府が参加出展
- 10月 クイーンズランド州日本商工会議所会頭一行(14名)が来県、知事及び県議会議長を表敬訪問したほか、高齢者福祉産業に関するセミナーを開催
- 1995年(平成7)年2月 大宮西武百貨店で、姉妹提携10周年記念「クイーンズランドフェア」を開催。同フェアには、クイーンズランド州から、州政府日本課長と経済紙記者が出席

	4月	海外事務所設置に関する調査を終了し、クイーンズランド州に駐在員を設置。調査のため派遣していた職員が、引き続き駐在員として常駐（～平成7年8月）以降、2年ごと（平成7年9月～平成9年9月、平成9年10月～平成11年9月、平成11年9月～平成13年9月）に駐在員として県職員（1名）を派遣
	7月	ブリスベン王立子供病院に入院中の本県の少年（5才）が肝臓移植手術に成功
1996年（平成8）年	5月	クイーンズランド州首相一行が来県。知事、県議会、埼玉県商工団体と懇談
	10月	副知事を団長とするクイーンズランド州経済視察団がクイーンズランド州を訪問。首相及び経済大臣を表敬訪問。建設資材展示会に参加したほか現地企業を視察
1997（平成9）年	4月	クイーンズランド州首相一行が来県。知事との会談の際に、「日本国埼玉県とオーストラリア国クイーンズランド州との姉妹州県友好の確認書」に調印。また、一行は、さいたま新都心及び彩の国さいたま芸術劇場を視察
	6月	ブリスベンで開催された日豪友好100周年記念会議で副知事が講演
	10月	クイーンズランド文化観光ミッションが来県。アボリジニ・ダンスチームによるパフォーマンスを県立岩槻高校にて実施
	11月	クイーンズランド・ブリスベンにおいて行われた自治体国際化協会主催の日豪行政フォーラムで新都心局長が「埼玉と新都心」について講演
		州の経済大臣兼首相補佐大臣を団長とするクイーンズランド州教育・職業訓練ミッションが来県。展示会及びセミナーを開催。また、大臣はさいたま新都心を、他の団員は、県内各地の高校や福祉施設等を視察
1998（平成10）年	1月	タウンズビル市を中心とした北部地域における豪雨による多額の被害に対して、県から200万円の救援金を贈る
	3月	クイーンズランド州総督一行が来県し知事と会談。大宮の盆栽園や新都心、県立川越高校を訪問したほか、川越市内を視察
	4月	こども動物自然公園内にクイーンズランド州産材を使用した「オーストラリアコーナー休憩舎」が完成
		クイーンズランド州北部首相代理が来県。知事を表敬訪問した後、農林部長と会議。浦和市内のデパートにて、オーストラリア産の牛肉などの販売状況を視察
	8月	6月に就任したクイーンズランド州新首相が来県。知事と会談を行い、さいたま新都心を視察
1999（平成11）年	5月	タウンズビル市長一行が来県。平成10年度の豪雨被害への本県の救援金贈呈に対し謝意を伝える。

- 2000(平成12)年
- 7月 ブリスベン王立子供病院に入院中の本県の少年が肝臓移植手術に成功
 - 10月 ビーティー首相が来県。知事と会談を行い、県営スタジアム、新都心などを視察
 - 9月 知事を団長とする親善訪問団を派遣し、ビーティー首相、アーニソン総督等と会談するとともに、オリンピック運営状況等を視察
 - 10月 環境防災部次長が、クイーンズランド州タウンズビル市で開催された「女性のビジネス、仕事と地域におけるリーダーシップの地位についての姉妹州県・都市会議(Can Do会議)」に参加
 - 11月 ビーティー首相が来県。知事と会談を行い、県内企業を視察。会談の際に、「日本国埼玉県知事とオーストラリア クイーンズランド州首相による共同声明」に署名
- 2001(平成13)年
- 4月 ムーニー タウンズビル市長一行が来県。平成12年10月にタウンズビル市内で開催された「女性のビジネス、仕事と地域におけるリーダーシップの地位についての姉妹州県・都市会議(Can Do 会議)」への埼玉県の参加に対し、謝意を伝える。
 - 6月 パラシェ クイーンズランド州第一次産業大臣が来県。知事と会談を行い、県内関連施設を視察
 - 8月 フォーリー クイーンズランド州雇用・職業訓練・青少年担当大臣兼文化担当大臣が来県。知事と会談を行い、さいたま新都心を視察
 - 10月 フェンロン クイーンズランド州議会議員が来県。知事と会談を行い、さいたま新都心等を視察
埼玉県議会クイーンズランド州友好親善訪問アジア・オセアニア行政視察団が、クイーンズランド州を訪問。ビーティー首相やホリス議長、アーニソン総督と会談
 - 11月 ビーティー首相が来県。知事と会談を行い、県が開発した「クイーンズランド州企業紹介ホームページ」のデモンストレーションを実施
- 2002(平成14)年
- 1月 ブライ州教育大臣が来県。知事と会談を行い、彩の国すこやかプラザ、さいたま新都心、和光国際高校を視察
 - 4月 ワールドカップサッカー大会の開始を記念し、「わくわくサッカー絵画展」を開催(於:伊勢丹浦和店)(4月10日～6月30日)
 - 5月 パラシェ 州第一次産業大臣が来県。副知事と会談を行い、県内関連施設を視察
- 2003(平成15)年
- 2月 ビーティー首相率いる労働党が州議会選挙で大勝。首相が3期目の任期に入る
- 2004(平成16)年
- 6月 姉妹提携20周年を記念し、県内の9つのホテルで「クイーンズランド州食材フェア」を開催(9月まで、開催期間は各ホテルにより異なる)
 - 7月 州代表フットサルチームが来県。埼玉スタジアム2002で浦和レッズジュニアユースチーム、川島町チームと親善試合を実施

2005 (平成17) 年	9月	ビーティー首相が来県、知事と会談 クイーンズランド・チルドレンズ・クワイアが来県。 県内の4つの児童合唱団とともに、蕨市民会館で合 同コンサートを開催
	11月	SKIPシティにおいて、「オーストラリアフェア」を 開催。オーストラリア映画を上映し、県民と県内在 住オーストラリア人の交流会を実施
	4月	ビーティー首相が来県、知事と会談
	11月	知事がクイーンズランド州を訪問。経済交流セミナ ーの開催、ビーティー首相との会談、企業訪問等を 実施
2006 (平成18) 年	6月	2006年日豪交流年の一環として、州内タウンズ ビル市で、彩の国さいたま混声合唱団が同州市内の 合唱団とジョイントコンサートを実施
	11月	ブライス総督が来県、知事を表敬訪問した後、伊奈 学園総合高校を訪問
2007 (平成19) 年	9月	ブライ首相が初就任
2008 (平成20) 年	4月	ブライ首相が来県、知事と会談
	7月	埼玉県議会観光振興議員連盟オーストラリア視察団 が、イングリッシュ州議会副議長、ブライス州総督 を訪問 クイーンズランド州選抜チームが埼玉国際ジュニア サッカー大会に参加 ウエンズリー総督が就任
2009 (平成21) 年	3月	ブライ首相就任 (2期目)
	11月	姉妹提携25周年を記念し、メキシコ州 (30周年)、 ブランデンブルグ州 (10周年) 記念も併せ、 さいたま新都心けやきひろばで「姉妹州フェア」を 開催 (11月2日~3日) (「まなびピア埼玉2009」 と同時開催) 記念ステージでは、クンバーバ高校と 姉妹校の伊奈学園総合高校・応援チアリーディング 部がチアリーディングショーを披露。また、クイ ーンズランド州関連出展ブースとして、10団体 (4業者、8大学等) が出展。
2010 (平成22) 年	3月	ミケル州議会議長が来県、知事と会談。また、県議 会議長と会談。
	7月	クイーンズランド州自由国民党ラングブルーク党首 が来県、知事と会談。また、県議会議長と会談。
2011 (平成23) 年	2月	クイーンズランド州で発生した洪水被害に対して、 県民及び県職員並びに県議会から寄せられた義援金 約460万円を、クイーンズランド州政府駐日事務所を 通じて、アナ・ブライ首相あてに贈呈。
	11月	「日本・豪州クイーンズランド州姉妹・友好都市活 性化会議」に国際課と産業労働政策課の職員 (2名) を派遣。
2012 (平成24) 年	3月	自由国民党が州議会選挙で大勝。ニューマン首相が 初就任。
	7月	ニコルス州財務兼通商大臣が来県、しらこぼと公園 ホワイトビーチ開きに出席した後、知事と会談。

2013(平成25)年	7月	シン普森州議会議長が来県、知事と会談。また、県議会議長と会談。
	9月	ニューマン首相が来日、知事と会談。また、県議会議長と会談。
	10月	県民生活部長を団長とする訪問団を派遣。州議会議長を表敬訪問。また州政府内閣府、貿易投資局、環境省を訪問。クイーンズランド大学、ロビーナ高校を訪問。
2014(平成26)年	6月	クイーンズランド日本商工会議所訪問団が来県知事及び県議会議長を表敬訪問。ビジネス交流会を実施。
	7月	姉妹提携30周年を記念し、知事がクイーンズランド州を訪問し、ニューマン首相と会談。また、教育フォーラムで講演。クイーンズランド日本商工会議所、ゴールドコースト市、クイーンズランド大学、ロビーナ高校を訪問。
	10月	ラングブローク教育大臣が来県。知事と会談。また県議会議長を表敬訪問。浦和高校校を訪問。県内教育関係者との意見交換会に参加。
2015(平成27)年	1月	クイーンズランドからコアラ(3頭)が贈られる。
	2月	労働党が州議会選挙で勝利。パラシェ首相が初就任。
	10月	パラシェ首相が来県、知事及び県議会議長と会談。
2016(平成28)年	1月	クイーンズランド州教育省国際部門局長が来県し、県民生活部長と教育交流プログラムアクションプランを署名。教育局長を表敬訪問。
	3月	スプリングボーク自由国民党党首が来県、知事及び県議会議長と会談。
	8月	ジャージー州総督が来県。県立小児医療センター新病院を視察し、知事及び県議会議長と会談。
2018(平成30)年	5月	クイーンズランド州パラシェ首相が来日し、都内で知事と会談。
2019(令和元)年	5月	クイーンズランド州パラシェ首相が来日し、都内で知事と会談
	10月	姉妹提携35周年を記念して、議会訪問団、行政訪問団、県民親善訪問団、大学関係者、企業関係者等を含む記念訪問団を派遣。
2020(令和2)年	3月	オーストラリアで発生した大規模森林火災被害に対して「県職員100円募金」を実施。義援金1,450,000円(AUD 21,433.86)をオーストラレーシア動物園水族館協会(ZAA)へ贈呈。
2021(令和3)年	11月	2か月、全4回にわたり、「埼玉県・クイーンズランド州オンラインセミナー」を開催
2022(令和4)年	11月	ブリスベンに拠点を置くラグビーチーム、クイーンズランド・レッズが来日。埼玉パナソニックワイルドナイツと熊谷ラグビー場で国際親善試合を実施。
2023(令和5)年	2月	ヒンチリフ観光・スポーツ・イノベーション大臣が来県。知事と会談。
2023(令和5)年	7月	クイーンズランド州パラシェ首相の来日に伴う州政府主催の午餐会で県民共生局長が知事の親書を渡した。

- | | | |
|------------|-----|---|
| 2024(令和6)年 | 8月 | 県派遣奨学生6名が在ブリスベン総領事主催の「姉妹提携40周年祝賀アフターヌーンティーセレモニー」に出席。 |
| | 8月 | 県内中高生対象の新規国際交流事業において、サザンクロス大学の協力のもと、オンライン留学体験を実施。 |
| | 10月 | 埼玉スタジアム2002で行われたW杯アジア最終予選日豪戦において、姉妹提携40周年PRブースを設置。 |
| 2025(令和7)年 | 3月 | 埼玉県立大学とクイーンズランド大学UQカレッジが、英語学習分野における教育的活動の協力を促進するための協定書を締結。 |
| 2025(令和7)年 | 6月 | ヤング総督が来県し、知事及び県議会議長と会談。また、県立小児医療センター及び和光国際高校を視察。 |
| 2025(令和7)年 | 8月 | 県内中高生対象の国際交流事業において、グリフィス大学の協力のもと、オンライン留学体験を実施。 |
| 2025(令和7)年 | 9月 | クリサフリ首相が2032ブリスベンオリンピック・パラリンピック組織委員会会長らと来県し、知事及び県議会議長と会談。また、熊谷ラグビー場を視察。 |

※地名、職名等は当時のものです。

クイーンズランド州との主な教育交流事業

1 スカラシップ事業 計49名派遣 (2013(H25)～)

(1) 高校生派遣 (2015(H27)年度～)

両県州の高校生を相互に約2週間派遣します。

県派遣実績：29名 県受入れ実績：26名

(2) クイーンズランド大学附属英語学校派遣 (2013(H25)年度～2015(H27)年度)

県派遣実績：5名

(3) サザンクロス大学附属英語学校派遣 (2016(H28)年度～)

サザンクロス大学附属英語学校に5週間派遣します。

県派遣実績：15名

2 高等学校教員の相互派遣 (1986(S61)年度～)

相互にホームステイをしながら、教員の研修を兼ねて現地の教育事情を学んだり、教育現場での国際交流に貢献しています。

基本、毎年各2名ずつを2週間派遣しています。

2025年度までの累計は派遣が62名、受入が64名となっています。

3 海外授業体験事業 (2006(H18)年度～2017(H29)年度)

推進校を指定し、県立高校生の派遣とクイーンズランド州の学校から生徒の受入を行ってきました。

2017年度までの累計は派遣が1,507名、受入が592名となっています。

4 高校生海外大学等短期派遣事業 (2011(H23)年度～2017(H29)年度)

指定校の生徒を海外の大学等へ短期派遣しました。派遣実績：1,155名

5 埼玉と世界をつなぐハイブリッド型国際交流事業 (2020(R2)年度までは海外短期派遣事業) (2018(H30)年度～)

県立高校生の派遣とクイーンズランド州の学校から生徒の受入を行っています。

派遣累計：935名、受入累計：126名

6 県立高校との姉妹校

	学校名	姉妹校名	提携年度
1	大宮光陵高校	キャベンディッシュロード高校	昭和61年度
2	伊奈学園総合高校	クンババ高校	63年度
3	南稜高校	ミッチェルトン高校	平成2年度
4	久喜北陽高校	バーンサイド州立高校	5年度
5	朝霞西高校	プロサパイン高校	9年度
6	進修館高校	ピース・ルゼラン・カレッジ	9年度
7	秩父高校	ロビーナ州立高校	10年度
8	川越高校	セント・オーガスティン高校	11年度
9	不動岡高校	キングロイ高校	15年度
10	白岡高校	ヘレンズヴェイル高校	16年度
11	和光国際高校	イエップーン高校	令和元年度

7 海外研修の実施（2004(H16)年度～）

埼玉県立大学の学生を、海外研修のためクイーンズランド大学へ派遣。

2025年度までの累計は学生290名、教授23名となっています。コロナ禍等の理由により2018年度～2023年度は中断していました。

年度	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	24	25
学生数	36	22	23	28	30	0	14	2	9	19	31	13	19	18	13	13
教授数	3	2	2	3	3	0	2	0	2	2	2	1	1	0	0	0

8 FM NACK5 高校生海外スポーツ研修プログラム(2014(H26)年度～2019(R1)年度)

株式会社エフエムナックファイブと公益財団法人埼玉県国際交流協会との共催により、高校生8人を7日間派遣してきました。姉妹提携30周年を記念して開始され、2019年度までの累計派遣学生数は48名です。

関係機関一覧

機 関 名	連 絡 先
クイーンズランド州政府 駐日事務所	〒105-6015 東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー15階 TEL 03-6841-0595 FAX 03-6841-0597 https://www.afbsj.com/index.php/en/tiq-japan
在日オーストラリア 大使館	〒108-8361 東京都港区三田2-1-14 TEL 03-5232-4111 https://japan.embassy.gov.au/kyojapanese/home.html
外務省大洋州課 (オーストラリア担当)	〒100-8919 東京都千代田区霞が関2-2-1 TEL 03-3580-3311(内5984) http://www.mofa.go.jp/mofaj/
在ブリスベン 日本国総領事館	Consulate-General of Japan, Brisbane Level 17, 12 Creek Street, Brisbane, Queensland, Australia TEL +61-7-3221-5188 FAX +61-7-3229-0878 https://www.brisbane.au.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html
埼玉県県民生活部 国際課	〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 TEL 048-830-2713 FAX 048-830-4748 https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a0306/index.html



クイーンズランド州の州章

クイーンズランド州との交流の概要

令和8年3月

発行：埼玉県県民生活部国際課

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

TEL:048-830-2713 FAX:048-830-4748

E-mail : a2705-09@pref.saitama.lg.jp

<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a0306/>